

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

糖鎖バイオマーカー(PSA 糖鎖修飾異性体)による前立腺癌標的局所療法(Focal therapy)後の再発予測に関する後ろ向き研究

1. 研究の対象

2018年4月1日から2021年12月31日までに東海大学医学部附属病院で高密度焦点式超音波法を用いた前立腺癌標的局所療法(Focal Therapy)を受けられ治療前後で糖鎖バイオマーカー(PSA 糖鎖修飾異性体)を測定された患者さん

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2026年12月31日 まで

251023

3. 研究目的・方法

目的: 下記の診療情報等を利用し、前立腺癌標的局所療法(Focal therapy)後の再発と PSA 糖鎖修飾異性体の濃度変化の関連性を明らかにすることを目的とした研究を実施するため、当院において Focal therapy の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに、PSA 糖鎖修飾異性体測定値の治療前後での変化量と治療後4年以内の病理組織学的癌再発の有無の関連性について、統計学的に検討します。

方法: この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

・試料:利用しない。

・情報: 年齢、性別、診断名、治療領域、治療前後の経時的 PSA 測定値、治療前および治療 3 カ月後の PSA 糖鎖修飾異性体測定値、治療前および治療後の MRI 画像診断結果、前立腺癌初回診断時および再発診断時の前立腺針生検の病理組織学的所見

5. 情報の提供先・提供方法

上記の診療情報等は他機関へ提供を行いません。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院（電話:代表 0463-93-1121 内線:5294）

研究責任者 腎臓泌尿器科 小路 直

問い合わせ担当者 腎臓泌尿器科 小路 直